

# こころ明るくたゆまぬ努力

令和2年7月10日(金) 第7号

## ◆豊橋・学校いのちの日

今年の豊橋・学校いのちの日は10年目の節目でした。前芝学校では毎年小中合同学校公開日として、保護者や校区のみなさんに来校いただいておりますが、今年は新型コロナウイルス感染症防止対策のために公開せず、各学級でいのちについて話し合う道徳の授業を行いました。

平成22年、今からちょうど10年前に市内の中学校1年生が、野外教育活動で浜名湖にある宿泊施設に行きました。その施設では浜名湖でカッターボート訓練をするのがメインでした。カッターボートというのは細長い形をした手こぎボートで、20人ぐらいが2列になって、それぞれの子がオールを1本ずつ持って、みんなで声を合わせ、力を合わせてボートを前進させます。とても苦しい訓練なのですが、みんなの心がひとつになり、団結力が高まる活動です。

10年前の6月18日、そのカッターボート訓練中に湖上で天候が急転してしまい、立ち往生したボートを岸に牽引中、ボートが転覆し、女子生徒が亡くなりました。

亡くなった子は、名前を西野花菜さんといいます。部活は吹奏楽部。楽器はホルン。読書が好きな子で、将来は医師になりたいと言っていたそうです。

私はたまたま、この亡くなった花菜さんの同級生が3年生になった時にこの学校に転勤しました。幼いときからいっしょに育った同級生が、いっしょに野外活動に出かけたのに、帰りはいなかった……。あの嵐の日以来、会えない、しゃべることができない、冗談を言って笑い合うことができない……。どんな気持ちでしょう。

花菜さんは事故の前日の日記に、一日の感想として「みんなすごい。こんな同級生の活躍を見てみたい」と、書き記したのを最後に亡くなりました。「言って来ます」と言って、仲良しの子と家を出たきり、戻ることはありませんでした。

同級生の子達は、ずっと花菜さんといっしょにいたい、花菜さんを忘れたくない、という思いから、教室に花菜さんの席を置き、席替えの時は花菜さんの席も入れて席替えをしていました。体育祭の応援席にも席がありましたし、そのイスの上には応援グッズも花菜さんの分が置いてありました。修学旅行ではお土産を買ってあげ、卒業式では担任の先生が呼名し、みんなで代わりに「はい」と、返事をしていて、式に参列した人たちの涙を誘いました。



同級生の子達にとって、花菜さんの存在は大きかったのですが、それと同じくらい、花菜さんのお父さん・お母さんをいたわる気持ちも大きかったように思います。花菜さんをご両親にとって唯一無二の宝物です。その花菜さんが亡くなった家は悲しみに包まれていたからです。同級生で誰とはなしにお参りに行って、ご両親と学校の様子や花菜さんの思い出を話したりしていたようです。



そんな悲しい出来事を乗り越え、花菜さんの尊い命を無にしないため、花菜さんの命日に改めて大切な人の命、自分の命について考えてもらいたいと思い、道徳の授業でいのちの大切さを学んでもらいました。

また、私たち教職員にとっては、改めて、学校は子ども達の「命」を預かっているところであり、「行ってきます」と言って家を出た子を「ただいま」とまた家に帰す、そのためには教職員の危機管理意識が大切なのだ、ということを確認する日でもあります。職員で黙祷をささげたあと、私の思いを伝えました。今年度は、コロナ対策、熱中症対策が子どもたちの「命」に直結しています。気を引き締めて、日々の授業や行事計画に生かしていきたいと思えます。

#### ◆「ノーメディアに挑戦！」いかがでしたか？

前芝学校では年に2回、小中同時期に家庭でテレビやスマホ、パソコンやゲーム等を極力さわらない生活に挑戦してもらっています。今回は7月6日（月）～10日（金）、中学校のテスト週間に設定させていただきました。

お子さんの状況はいかがでしたか。

ちなみに、子ども達の保健委員会で決めたルールは

- 1年生・・・メディア時間は勉強時間の1/2以下
- 2年生・・・                    "                    の1/3以下
- 3年生・・・                    "                    の1/4以下      です。

子ども達と考えたので、メディア時間はゼロではなく、勉強時間との兼ね合いで考えてあります。日頃の家庭でのメディアルールの参考にさせていただけると幸いです。

学校再開とともに、子ども達のネット・ゲーム依存症についての話題が報道されています。お子さんの生活がネット・ゲーム（特にオンラインゲーム）中心になってしまっていると感じる場合は、依存症の傾向にあるかもしれません。ネット・ゲーム依存症は「ゲーム障害」という病気です。悪化すると病院での治療が必要となってきますので、今回の「ノーメディアに挑戦！」の取り組みをきっかけに、是非家庭でのメディアルールを継続していただけたらと思います。



▲7月9日の給食です。カレーとパンと牛乳。日頃の給食のありがたみがわかりました。

